



SSS
社会科学部
School of
Social Sciences

Waseda University School of Social Sciences

早稲田大学 社会科学部

<https://www.waseda.jp/fsss/sss/>

全国自己推薦 入学試験

2025年度

出願期間

2024年
9月23日(月)～
9月30日(月)

プラスアルファ

+ α の個性

勉学に励みつつも、
それ以外の何かにも取り組んできた人、
いわゆる受験勉強に力点をおいてきた人とは
一風異なった、「+ α の個性」を持つ人を対象としています。

地域性重視

異なる地域、文化で育まれた精鋭が全国から集えば、
活気が生まれ、互いに刺激しあいながら成長できる一。

「全国自己推薦入学試験」は、こうした効果を
期待しています。

これは、本学部が掲げる“社会に開かれた学部”
という理念にもつながっています。

全国自己推薦入学試験とは

個人の優れた資質と活動実績のある者を 幅広く日本国内および世界より求めています。

出身学校(長)からの推薦書を必要とせず、高等学校または中等教育学校後期課程在学中のさまざまな活動歴をもとに、受験生の皆さんが「自分自身を社会科学部に推薦する」入試制度です。

全国で初めて(1989年)、社会科学部が、受験生の“個性”を評価するために創設しました。それとともに、“地域性”を重視し、日本全国を7つの地域ブロックに分け、各ブロックから5名程度の合格者を出すことを目標にしています。

“個性”と“地域性”を二本柱とする「全国自己推薦入学試験」へ、積極的にチャレンジしてください。



出願資格

以下の1～5の「すべて」に該当する者

- 2024年3月に高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者、または2025年3月までに高等学校または中等教育学校後期課程を卒業見込みの者。
- 2024年3月に卒業した者は、高等学校または中等教育学校後期課程卒業時における全体の評定平均値が4.0以上の者。2025年3月までに卒業見込の者は、1年1学期または前期から3年(4年制定時制は4年)1学期または前期までの全体の評定平均値が4.0以上の者。
- 2024年3月に卒業した者は、高等学校または中等教育学校後期課程卒業時における調査書記載の欠席日数が45日以内(4年制定時制は60日以内)の者。2025年3月までに卒業見込の者は、1年1学期または前期から3年(4年制定時制は4年)1学期または前期までの調査書記載の欠席日数が45日以内(4年制定時制は60日以内)の者。
- 高等学校または中等教育学校後期課程在籍期間の活動において、次の1つ以上に該当する者。ただし、資格に関しては、高等学校または中等教育学校後期課程在籍期間以前に取得したものによる出願も受け付ける。
 - 学芸系またはスポーツ系クラブなどに所属し、都道府県以上の大会・コンクール・展覧会などにおいて優秀な成績を収めた者。
 - 生徒会活動において、めざましい活躍をした者。
 - 資格(語学検定や財務・会計資格など)を有する者。
 - その他、学校外での諸活動(クラブ活動、ボランティア活動など)において、めざましい活躍をした者。
- 英語外部検定試験のうち、以下の基準点を満たすスコアをいずれか1つ提出できる者。
 - 実用英語技能検定(CSEスコア):1,950以上 ●GTEC CBT:930以上 ●IELTS:4.0以上 ●TEAP:225以上
 - TOEFL iBT:42以上 ●TOEIC L&R / TOEIC S&W:1,150以上

※TOEIC L&R/TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアとする。
※出願期間以前に取得したスコアに限り有効とする。なお、2024年3月に卒業した者は、前文の条件を満たす場合において、卒業後に取得したスコアも出願資格として有効とする。

2023年度入学

Interview

みうら ねお
三浦 音央 さん

愛媛県立今治西高等学校 卒業

高校ではどのような活動をしていましたか？

中学校年代をロンドンで過ごした私は、帰国を選択した際、日本での高校生活は自分の好奇心を揺さぶること全てに挑戦しようと決めていました。

まず飛び込んだのは、多様な表現の世界です。そこでこれまでの自分の経験や学びを伝えていきました。最終的には英語スピーチコンテスト、英語弁論大会、高校文化祭日本語弁論部門でそれぞれ県優勝、英作文コンテスト全国入選、読書体験記コンクール全国優良賞、そして俳句甲子園で全国3位という結果も付いてきました。これら表現の世界への挑戦は、これまでの自分自身を振り返り、整理し、それが現在や未来にどうつながっているのかを考える重要な時間となり、多くの仲間や新しい価値観に出会う貴重な機会ともなりました。

日常的にはサッカー部に所属しながら、生徒会長として学校内外の様々な役割を担ってきました。その中でも特に好奇心を揺さぶられたのは、全国高校総体の県推進委員長の活動です。視察、PR活動、イベント開催、記念品の企画開発と、高校生が主体的に企画運営する様は、さながら起業したようでもありました。来県した選手やスタッフに手渡すおもてなしの品を地元今治タオルの会社と共同開発したことは、現在の私にもつながっています。高校3年時には、総体での経験を基に日本の優れたものを世界に発信するという企画を立て、文部科学省のトビタテ留学JAPANでドイツに短期留学しました。

好奇心を軸に思い切って行動すると、経験や学びがつながり、人とつながり、それがまた次なる好奇心を目覚めさせる、そんな風に生きた高校時代でした。

社会科学部を志望し、「全国自己推薦入試」で受験しようとしたのはなぜですか？

日本の最先端の情報や優れた人材が集まる早稲田大学という世界に飛び込んで、それらと出会ってみたい、そしてつながってみたいと思ったからです。その中でも社会科学部は、多様な学術分野を自分の選択で学ぶことができる、私にとって最適な学びの環境であると感じました。

全国自己推薦入試については、まず「+αの個性」「地域性重視」という理念に惹かれました。それは私自身が大切にしていることでもあり、高校生活のあらゆる活動のテーマとも重なっていました。この入試によって自分のこれまでの生き方をどう捉えられるのか、そしてこの入試を受ける人たちがどんな生き方をしているのかも私にとって興味深いことでした。入試の面接の際には、自分の経験や考えを自由に伝えてよい雰囲気があり、入試でありながら楽しい時間であったこと、私がした選択は正しかったと感じたことを覚えています。そして入試で出会った人たちは、今では互いに良い刺激を与え合う親しい友人になっています。

実際に社会科学部に入学してみて、どう感じていますか？

社会科学部には、私が想像していた通りの学びの環境がありました。私はどの講義も教卓の前の席で受けていますが、それぞれの先生の生き様を見ているようで圧倒されます。それほど専門性が高く、研究に情熱をかけられているのが伝わり、先生の生き方そのものが私にとって大きな学びとなっています。また、得る知識が私自身の生活や目標と直結していることも、講義が面白い理由となっています。生成AIを取り扱った講義や元経営者の教授が教えるビジネス論、実践的な会計学など、100分があっという間に思えるような多様な講義を自由に選択できる社会科学部の良さを、今実感しています。

また、ディスカッションやフィールドワークが多いのも良さのひとつです。ディスカッションで互いの経験知や考え方を知るとは、自分の思考の幅を広げ、多角的な視点を育てることになると感じています。またフィールドワークとして、キャンパス調査や地方創生EXPOへの参加など、講義室を飛び出し、人と出会ったり現場の空気を肌で感じたりしながら学ぶ時間も有意義で、生きた情報を手にすることができます。

現在、力を入れて取り組んでいることはなんですか？

大学、インターンシップ、そして今夏から始まる1年間のドイツ交換留学と、それぞれの学びをつなげ、発展させていくことに注力しています。高校時代におもてなしの品を共同開発したタオル会社の東京支店に、大学入学時からインターン生として働いています。タオルの魅力を発信していくことはもちろん、マーケティングや経営戦略にも微力ながら関わっています。大学で学び、インターンシップで実践し、また大学での学びを深めるという循環をつくることができています。そしてドイツ留学中には、タオルが現地の硬水にどれだけの耐性を持つのか検証してくれることを発案し、今後海外展開をしていく一助を担うことになっています。それらがまた、ドイツの大学での学びともつながっていくはずです。

さらに、高校時代のドイツ留学で出会った人からの依頼を皮切りに、東京を訪れる外国人の観光案内も行っています。語学やコミュニケーションのスキルアップと共に、外国人視点での日本の魅力についての情報収集をしています。

将来の目標は？

これまでも好奇心を軸に多様な世界に飛び込み、学びをつなげ、人とつながりながら生きてきました。私の将来の目標は、そんな生き方の続きであり、もうすでに始まっているとも言えます。私は、日本と世界をつなぐ「コネクター」の役割を担いたいと考えています。海外に出て、日本を外から見た時、日本という国がもつ素晴らしいさや美しさを再確認しました。それを世界に発信し、つなげ、日本や地域を活性化していくつもりです。

今、私が実践しようと思っていることのひとつが「地元である愛媛の産業や文化を世界とつなげる」ことです。地元名産品の海外展開と愛媛にある農的な暮らしに注目しています。近年失われそうになっている日本の伝統的な衣、食、住、そして地域や家族とのつながりを大切にする農的な暮らしを世界に発信し、その暮らしを実際に体験する事業を展開します。そうすることで地域が活性化し、日本の伝統的な暮らしを守っていくことにもつながると考えています。文化としては、俳句です。愛媛県が俳人正岡子規を生んだ場所であり、私自身も創作を続けているものでもあります。日本の情景や日本の言葉の美しさ、そして日本人の心と共に伝えていきます。

これからの受験生へ向けて、一言お願いします！

自分の感覚に従うこと、私の言葉にすると好奇心を軸に思い切って行動することは、自分にしかできない経験、自分にしかない生き方を生み出します。それが、「個性」になっていくのかもしれない。さあ、あなたの好奇心を揺さぶる世界に飛び込んでみてください。きっと新しい出会いやこれまでとは違って見える風景が現れるはずです。



Neo, Miura

* 下記のスケジュールは変更になる可能性があります。最新情報は入試要項および社会科学部Webサイトを必ず都度ご確認ください。

入試スケジュール

7月 上旬	入試要項公開 (予定)	学部Webサイト(左ページ下)で入試要項の公開を予定しています。出願書類の作成、活動記録の裏付けとなる資料の収集等には時間がかかるため、余裕を持って早めに入手してください。
9月23日(月)～ 9月30日(月) (締切日消印有効)	出願 (郵送による受付)	入試要項にしたがって出願書類を作成し、郵送で提出します。第一次選考(書類選考)の検定料は10,000円(第二次選考の検定料は25,000円)です。以下の諸点を考慮のうえ、選考します。 ●成績評価 ●活動記録(大会記録・生徒会活動・学校外での諸活動・資格など) ●出席状況 ●その他
11月8日(金)	第一次選考合格発表	下記Webサイトで発表します。
11月17日(日)	第二次選考 (試験選考)	早稲田キャンパスで行います。 小論文 + 面接
12月13日(金)	第二次選考合格発表	下記Webサイトで発表します。
12月16日(月)～ 12月23日(月)	入学手続 (一次)	登録料(入学金相当額)および学費等を振り込むことで完了します。 ※3月中旬に二次手続があります。

Q&A

Q: 卒業見込の者と既に卒業した者のそれぞれに、合格枠を設けていますか?

A: いいえ。合格枠を分けず、同じ基準で選考しています。

Q: 他大学(他学部)や、プロスポーツの入団テストなどと併願することはできますか?

A: はい。できます。

Q: 教員免許を取得することはできますか? また、就職状況はどうですか?

A: 中学校1種「社会」、高等学校1種「地理歴史」、「公民」、「商業」、「情報」の免許が取得できます。また、就職に関しては、本学部のカリキュラムを活かし、マスコミ関係、製造業、商業、金融・保険業、IT関係など、多様な業種に進んでいることが特徴です。

Q: 出願資格4の中の「その他、学校外での諸活動」とはどのようなものですか?

A: 高校生活とは直接関係のないもので、学芸系・スポーツ系・ボランティア活動など、あらゆる個人的活動を意味します。めざましい活躍を客観的に証明する資料をご用意ください。

◆選考方式

- 日本全国を7つの地域ブロックに分け、ブロック単位で合格者を出す方式とします。
- 地域ブロックの構成は図の通りとします。
- 各地域ブロックから5名程度の合格者を出すこととします。

※地域ブロックは、原則として出身高校所在地による区別となります。ただし、通信制高校の場合は志願者本人の現住所(調査書記載の現住所)による区別とします。

⑦ 九州・沖縄ブロック

福岡・佐賀・長崎・熊本・
大分・宮崎・鹿児島・沖縄

① 北海道・東北ブロック

北海道・青森・岩手・宮城・
秋田・山形・福島

⑤ 関西ブロック

滋賀・京都・大阪・兵庫・
奈良・和歌山

② 北関東・甲信越ブロック

茨城・栃木・群馬・新潟・
山梨・長野

③ 南関東ブロック

埼玉・千葉・東京・神奈川

⑥ 中国・四国ブロック

鳥取・島根・岡山・広島・山口・
徳島・香川・愛媛・高知

④ 東海・北陸ブロック

岐阜・静岡・愛知・三重・
富山・石川・福井

◆過去3ヵ年の志願者・合格者数

年度	志願者数	合格者数
2024	222人	39人
2023	302人	39人
2022	297人	39人

◆これまでの合格者の優秀活動成績例

- ・囲碁U-20世界大会優勝
- ・囲碁全国大会優勝
- ・将棋全国大会優勝
- ・全国放送コンテスト文部科学大臣賞
- ・全国新聞コンクール優勝
- ・珠算全国大会優勝
- ・電卓全国大会優勝
- ・競技かるた全国大会優勝
- ・読書感想文全国コンクール内閣総理大臣賞
- ・エッセイ全国コンテスト大賞
- ・弁論全国大会優秀賞
- ・SGH甲子園最優秀賞
- ・全日本吹奏楽コンクール金賞
- ・箏曲全国大会文部科学大臣賞
- ・吟詠全国大会優勝
- ・情報処理全国大会優勝
- ・全国高校総合文化祭優勝
- ・生徒会活動全国大会入賞
- ・英語ディベート世界大会優勝
- ・英語弁論全国大会入賞
- ・英語論文発表世界大会入賞
- ・鉄道模型世界大会入賞
- ・執筆活動
- ・excel世界大会優勝
- ・日本奏楽コンクール全国大会優勝
- ・平和活動(ユース非核大使)
- ・俳句甲子園全国大会3位
- ・新聞年間紙面審査賞全国大会最優秀賞
- ・ビジネスコンテスト全国大会大賞
- ・アメフト全国大会優勝
- ・ウエイトリフティング全国大会優勝
- ・弓道全国大会準優勝
- ・硬式/軟式テニス全国大会優勝
- ・硬式/軟式野球全国大会優勝
- ・剣道全国大会優勝
- ・柔道全国大会優勝
- ・少林寺拳法全国大会優勝
- ・サッカー全国大会優勝
- ・水泳競技アジア大会準優勝
- ・アイスホッケー全国大会優勝
- ・スケート国際大会第3位
- ・相撲全国大会優勝
- ・ソフトボール全国大会優勝
- ・卓球全国大会第3位
- ・バスケットボール全国大会優勝
- ・バドミントン全国大会優勝
- ・ラグビー全国大会優勝
- ・レスリング全国大会優勝
- ・一輪車国際大会優勝
- ・ヨット全国大会優勝
- ・バレーボール全国大会優勝
- ・フェンシング全国大会2位
- など

お問い合わせ先

早稲田大学 社会科学部「全国自己推薦入学試験」係

この入学試験に関する問い合わせ等は、右記の所定フォームよりお願いします。▶

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

<https://www.waseda.jp/fsss/sss/>

〈窓口受付時間〉月～金/ 10:00～16:00



<https://forms.office.com/r/C5HWj7wdFZ>